

「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年6月28日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
参加型アウトドアツアー

contact Gonzo (コンタクト ゴンゾ) + YCAM 参加型アウトドアプロジェクト

「hey you, ask the animals. (ハイ・ユー、アスク・ジ・アニマルズ)」

／テリトリー、気配、そして動作についての考察」

2013年8月24日(土)～26日(月) 15:30 YCAM1階チケットインフォメーション前集合

会場: 元・山口県21世紀の森

身体×メディア×アウトドア

DIY ツールをもって森に出かけよう

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAM10周年記念祭の一環として、アーティストグループcontact Gonzo (コンタクト ゴンゾ) と YCAM のコラボレーションによる参加型アウトドアツアー「hey you, ask the animals. (ハイ・ユー、アスク・ジ・アニマルズ)／テリトリー、気配、そして動作についての考察」を開催いたします。

contact Gonzo は、殴る／ぶつかるといった激しい「接触」に基づいたスリリングなパフォーマンスで注目を集めるアーティストグループです。

彼らが実践する身体的なコミュニケーションの方法論を今日的なテクノロジーによって拡張する本ツアーでは、「ケモノ道＝トレイル」をキーワードに、山間部を駆け巡るフィジカルな経験と、モバイル端末を駆使した記録／コミュニケーションを融合させた、自然環境との新しい接し方を提案します。

森の中に人と動物が交わる領域をつくりだし、様々なアプローチから人間の身体の中に潜む原初的な「知性」を引き出そうとする本ツアーは、10周年記念祭のテーマである〈アート〉〈環境〉〈ライフ〉を体現するプロジェクトのひとつです。この機会にぜひご参加ください。



contact Gonzo によるツアー会場のイメージ

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



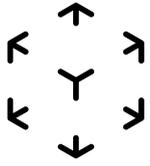
山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



「痛みの哲学、接触の技法」を掲げるアーティストユニット contact Gonzo



contact Gonzo が出演した「YCAM performance lounge #5」(2010年)の様子

contact Gonzoは、殴る／蹴るといった激しい「接触」に基づくスリリングなパフォーマンスで国内外から注目を集めるアーティストグループです。この「contact Gonzo」はグループ名であると同時に、彼らが追求する方法論の名前でもあります。

方法論と言ってもそれは言語的なものではなく、彼らが語るコンセプト「痛みの哲学、接触の技法」に表れているように、あくまで身体的な体験を通して得られる新しい「知性」のようなものを指しています。彼らはそれを獲得するため、山や建物に登る、斜面を滑降する、地面に穴を掘る、といった単純な行為を繰り返し、感覚を研ぎ澄ませながら、世界各地でパフォーマンスを展開しているのです。

キーワードは「ケモノ道＝トレイル」、YCAMとの新プロジェクト

今回、contact GonzoがYCAMとのコラボレーションによって実現する本プロジェクトは、そうした彼らの方法論に基づき、初めて提案するツアー形式の新しいアウトドア体験です。

ツアーの開催に先立ち、彼らはツアー会場となる森で2週間に渡って生活をおこないながら、森やそこで暮らす動物たちの「知性」を学ぶべく「接触」を試みます。動物の動きに反応して自動で撮影する「トレイルカメラ」で動物の行動を観察しながら、動物が作った「ケモノ道」を探し出し、滑降やジャンプなど、そこを人間が通るための方法を編み出すほか、スケートランプをつくるような感覚で、森の地形に手を加え、より高度な身体コントロールが求められるツアーコースも造成。人の「ケモノ道」をつくりだします。

contact Gonzo (コンタクトゴンゾ)



© contact Gonzo

contact Gonzoとは、殴り合ったり山の斜面を落ちたりする過程で一時的に言葉を忘れることを美德とする集団／方法論の名称。現メンバーは塚原悠也、三ヶ尻敬悟、金井悠、松見拓也、小林正和の5人。パフォーマンス中のインスタントカメラを使った撮影、ほぼサウンドデータのみで行為を劇場で表現した「Abstract Life 《世界の仕組み／肉体の条件》」などメディアに対する独自の手法でも評価される。contactgonzo.blogspot.com

ツアー会場となる森

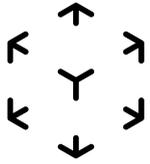
かつて「山口県21世紀の森」があったエリアのこと。「山口県21世紀の森」は、山口県の自然を多くの人々に体験してもらうための施設。施設内にはキャンプ場や学習施設などがあり、小学生向けの森林体験活動を展開していたが、2010年に閉鎖した。

トレイルカメラ

森に住む動物の観察、あるいは狩猟のために用いられるカメラ。センサーが内蔵されており、カメラの近くに動物が通り過ぎると、自動的にシャッターが切られるようになっている。夜行性の動物も多いことから、赤外線写真の撮影も可能な場合が多い。



ツアー会場に設置されたトレイルカメラが撮影したテンの写真



動物と森から学ぶ原初的な知性—hey you, ask the animals.



contact Gonzo によるスケッチ

今回、参加者はツアーコースを巡りながら、彼らが森や動物から学んだことを現場で追体験していくことになります。森の動物たちのように、気配を消して森に潜むにはどうすればいいのか？森の中の激しい起伏を捉え、その上を滑降していく「山サーフィン」はどのようにすれば上手くなるのか？日常生活ではまず実践することはない、このような一連の「修行」を通じて、Gonzo 流の知性の獲得法を学んでいくのです。

メディアテクノロジー×自然環境

YCAMでは、このプロセスをより豊かものにするべく、「パーソナル・ファブリケーション」と呼ばれるものづくりの台頭や、スマートフォンの高機能化／小型化や通信環境の整備といった近年の技術的状況の変化を踏まえ、外部のアーティストと共同でインスタントカメラを拡張するデバイスと、スマートフォン用のカメラアプリケーションを開発しました。

いずれもトレイルカメラ的な機能を持つもので、これらオリジナル記録ツールをcontact Gonzoがツアーコース内に仕掛け、ツアー中の参加者をひっそりと撮影。参加者が森の中でとっさに取った無意識的な行動の数々が収められた写真や映像の数々を通して、参加者は動物としての自分の動作を見返すことになります。ここには、動物や人を等しく扱う視点の他に、映像や写真も獲物として扱う、メディアテクノロジーが一般的に浸透した現在ならではのリアリティが表れていると言えるでしょう。

hey you, ask the animals. / テリトリー、気配、そして動作について の考察

ツアーディレクション：

contact Gonzo (塚原悠也、三ヶ尻敬悟、金井悠、松見拓也、小林正和)

山口情報芸術センター [YCAM]

ガジェット開発：

yang02

アプリケーション開発：

稲福孝信

企画協力：

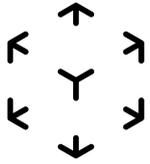
田中浩 (山口県立山口博物館動物担当理学博士)

特別ゲスト：

DJ BIOMAN

パーソナル・ファブリケーション

MITメディアラボのニール・ガーシェンフェルドが提唱する新しいものづくりの在り方。企業による大量生産、大量消費を前提としたものづくりではなく、コンピューターやインターネットの特徴を最大限に活用した、個人によるものづくりのこと。とりわけ、近年3Dプリンターやレーザーカッターが低価格化したことにより、領域が多様化し、全世界的に注目を集めている。



「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年6月28日 プレスリリース

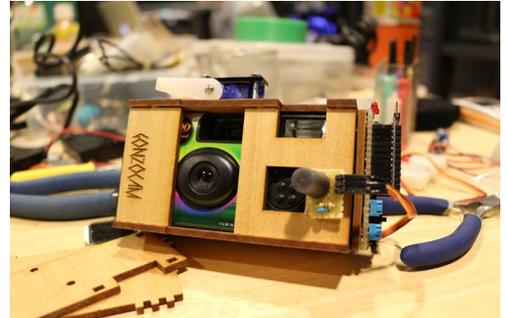
山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
参加型アウトドアツアー

次のツアー会場はあなたの近所の山?使用するツールも公開予定

contact Gonzoが活動の最初期から使用し、そして今回も使用するのがインスタントカメラです。持ったまま倒されたり、殴りかかってくる相手や宙に向かって投げ付けても壊れない、パフォーマンスをしながらでも素早くシャッターを押すことができる……など、インスタントカメラの「無骨さ」はたしかに彼ららしくもあります。

今回のツアーにあたり、彼らが愛用するインスタントカメラに、オリジナルのデバイスを装着し、その機能を拡張。周囲の物体の動きや加速度の変化などをトリガーにシャッターを切る、自動的にフィルムを巻き上げるなどの機能を追加しました。このデバイスはツアー終了後に、開発記録や制作方法、スマートフォンをトレイルカメラにするアプリケーションとともに、公開する予定です。

これらを使って、周りの自然の中で、自分なりの遊び方を見つけてください。



アーティストのyang02が現在開発中の
インスタントカメラをトレイルカメラに拡張するデバイス

開催概要

contact Gonzo + YCAM 参加型アウトドアプロジェクト

「hey you, ask the animals. (ハイ・ユー、アスク・ジ・アニマルズ) /

テリトリー、気配、そして動作についての考察」

2013年8月24日(土) - 26日(月)

15:30 YCAM1階チケットインフォメーション集合 [各日完結]

※ツアーの終了は21:00ごろを予定しています

料金: 3000円 ※要申込 (申込方法は右欄参照)

対象: 中学生以上 ※15歳未満の方は保護者同伴でご参加ください

会場: 元・山口県21世紀の森

<http://gonzoycam.tumblr.com>

主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市教育委員会

平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

助成: 公益財団法人セゾン文化財団

共同開発: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

国際グループ展「art and collective intelligence」

7月6日(土) ~ 9月29日(日) 10:00-19:00 火曜休館 入場無料

会場: 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、2階ギャラリー、道場門前大
駐車場屋上特設スペースほか

「集合知」をテーマにした、国内外6組のアーティストによるグループ展。contact
Gonzoも今回のツアーと共通するテーマを持った新作を発表する。

申込方法

住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、メールアドレスなど連絡先を明記の上、メール又はFAXにてお申し込みください。

FAX:

083-901-2216

メールアドレス:

reserve@ycam.jp

受付開始日: 6月29日(土)

注意事項:

- ・動きやすい服装・靴でご参加ください。
- ・長袖、長ズボン、帽子の着用をお勧めします。
- ・飲み物をご持参下さい。

本ツアーは自然環境の中で行うため、落石、倒木、転滑落、動植物被害など、事故が発生する可能性もあります。参加者のみなさまと主催者の協力の元に安全が成り立つことをご理解いただき、自己責任にてご参加ください。